

令和4年度 大分市社会福祉協議会事業報告書

令和4年度中に本会が実施した事業は、次のとおりです。

総務課

総務課は、本会の会務や人事、予算管理を行うとともに、会員制度の充実強化や各種団体への補助金等の交付事務、指定管理者として施設の効果的な管理運営等に努めました。

1 会務

(1) 評議員会

日 時	会 場	議 題
令和4年6月28日(火) 10:30~12:00	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について ・理事の選任について
令和4年12月19日(月) 14:00~14:30	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	・令和4年度資金収支補正予算(第1号)について
令和5年3月28日(火) 14:30~15:10	J:COMホルトホール大分3階 大会議室	・令和4年度資金収支補正予算(第2号)について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度資金収支予算について ・理事の選任について

(2) 理事会

日 時	会 場	議 題
令和4年6月6日(月) 14:30~16:10	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について ・職員の育児・介護休業に関する規程の一部改正について ・評議員候補者の推薦について ・理事候補者の選任について ・令和4年度第1回評議員会の招集について ・大分市老人デイサービスセンターさざんか

日 時	会 場	議 題
		運営規程等の一部改正について ・ 職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改正について（令和4年3月30日会長専決処分） ・ 大分市ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について（令和4年3月29日会長専決処分）
令和4年8月29日（月） 10：30～11：10	J:COM ホルトホール大分3階 大会議室	・ 事務局規程等の一部改正について ・ 佐賀関・神崎地域包括支援センター（介護予防支援）運営規程の廃止について ・ 評議員候補者の推薦について
令和4年12月7日（水） 10：30～11：25	J:COM ホルトホール大分2階 201・202 会議室	・ 令和4年度資金収支補正予算（第1号）について ・ 大分市障害者等ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について ・ 令和4年度第2回評議員の招集について ・ 大分市成年後見センター設置規程の一部改正について（令和4年11月1日会長専決）
令和5年3月20日（月） 14：30～15：30	J:COM ホルトホール大分3階 302・303 会議室	・ 令和4年度資金収支補正予算（第2号）について ・ 令和5年度事業計画について ・ 令和5年度資金収支予算について ・ 職員就業規則等の一部改正について ・ 職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改正について ・ 音楽福祉支援センター運営規程等の改正について ・ 規程等に規定する申請書等の押印の特例に関する規程の制定について ・ 役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 評議員候補者の推薦について ・ 理事候補者の選任について ・ 令和4年度第3回評議員会の招集について

(3) 三役会

日 時	会 場	議 題
令和4年5月30日(月) 14:00~15:20	J:COM ホルトホール大分3階 福祉関係団体活動室	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度事業報告について・令和3年度収支決算について・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について・評議員候補者の推薦について・理事候補者の選任について・令和4年度第1回評議員会の招集について・職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改正について(令和4年3月30日会長専決処分)・大分市ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について(令和4年3月29日会長専決処分)
令和4年8月26日(金) 15:30~16:10	J:COM ホルトホール大分3階 302 会議室	<ul style="list-style-type: none">・事務局規程等の一部改正について・佐賀関・神崎地域包括支援センター(介護予防支援)運営規程の廃止について・評議員候補者の推薦について
令和4年11月24日(木) 14:00~15:10	J:COM ホルトホール大分3階 福祉関係団体活動室	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度資金収支補正予算(第1号)について・大分市障害者等ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について・令和4年度第2回評議員会の招集について・大分市成年後見センター設置規程の一部改正について(令和4年11月1日会長専決)
令和5年3月3日(金) 14:00~15:10	J:COM ホルトホール大分3階 福祉関係団体活動室	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度資金収支補正予算(第2号)について・令和5年度事業計画について・令和5年度資金収支予算について・職員就業規則等の一部改正について・職員の給与及び退職手当に関する規程等の一部改正について・音楽福祉支援センター運営規程等の一部改正について・規程等に規定する申請書等の押印の特例に関する規程の制定について

日 時	会 場	議 題
		<ul style="list-style-type: none">・役員等賠償責任保険契約の締結について・評議員候補者の推薦について・理事候補者の選任について・令和4年度第3回評議員会の招集について

(4) 評議員選任・解任委員会

日 時	会 場	議 題
令和3年6月6日(月) 16:00~15:45	J:COMホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・評議員の選任について
令和4年9月7日(水) 14:00~15:20	J:COMホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・評議員の選任について
令和5年3月20日(月) 16:00~17:20	J:COMホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・評議員の選任について

(5) 監 査

日 時	会 場	議 題
令和4年5月25日(水) 9:30~12:00	J:COMホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について

2 会員制度の充実強化

会員規程に基づき、広く市民を対象に会員の拡充強化を図りました。

- 会費収入総額 19,600,220 円 (3年度 19,479,760 円)
 - ・ 一般会員 142,018 口 17,042,220 円 (3年度 16,880,760 円)
 - ・ 賛助会員 1,808 口 1,808,000 円 (3年度 1,824,000 円)
(本会役職員、行政関係職員、自治委員、民生児童委員、福祉関係団体役員などの個人)
 - ・ 特別会員 150 口 750,000 円 (3年度 755,000 円)
(会社、事業所、福祉・医療などの団体)

【一般会員地区別累計表】

(単位：口、円)

地区名	4年度		3年度	
	口数	金額	口数	金額
大分地区	69,702	8,364,260	69,192	8,303,000
鶴崎地区	23,443	2,813,160	22,803	2,736,360
大在地区	8,227	987,280	8,085	970,240
坂ノ市地区	5,496	659,520	5,191	622,920
大南地区	7,035	844,200	6,971	836,520
植田地区	23,727	2,847,240	23,828	2,859,360
佐賀関地区	3,293	395,160	3,389	406,680
野津原地区	1,095	131,400	1,214	145,680
合計	142,018	17,042,220	140,673	16,880,760

3 寄託・寄附金品

市民の方々から福祉事業のために寄附された香典返し、篤志などの金品は以下のとおりです。

【令和4年度寄託・寄附金】

(単位：件、円)

区分	5千円以下	5千円超 1万円以下	1万円超 2万円以下	2万円超 5万円以下	5万円超 10万円以下	10万円超 20万円以下	20万円超	4年度 計	3年度 計
香典 返し	77件 326,000円	237件 2,370,000円	73件 1,455,000円	74件 2,550,000円	9件 900,000円	1件 200,000円	0件 0円	471件 7,801,000円	437件 7,061,000円
篤 志	2件 10,000円	2件 20,000円	1件 20,000円	5件 180,491円	0件 0円	3件 600,000円	1件 500,000円	14件 1,330,491円	30件 2,822,726円
物 品	0件 0円	0件 0円	0件 0円	2件 67,000円	1件 70,000円	1件 100,000円	1件 858,000円	5件 1,095,000円	4件 225,084円
4年 度	79件 336,000円	239件 2,390,000円	74件 1,475,000円	81件 2,797,491円	10件 970,000円	5件 900,500円	2件 1,358,000円	490件 10,226,491円	471件 10,108,810円
3年 度	67件 296,000円	238件 2,380,000円	76件 1,486,429円	73件 2,698,500円	12件 1,094,871円	3件 453,010円	2件 1,700,000円	471件 10,108,810円	

4 校（地）区社会福祉協議会、各種団体等への補助金等の交付

No.	補助金等名称	交付団体名称	交付金額（円）	
			4年度	3年度
1	校（地）区社協活動費交付金（前期分）	校（地）区社会福祉協議会	17,148,000	17,128,000
2	校（地）区社協活動費交付金（後期分）	〃	4,320,000	4,323,000
3	校（地）区社協福祉活動費交付金	〃	8,521,110	8,440,260
4	地区社協福祉活動費助成金	地区社会福祉協議会	2,880,500	2,481,500
5	高齢者生きがい対策事業補助金	校（地）区社会福祉協議会	895,427	639,160
6	小地域福祉ネットワーク事業交付金	〃	3,950,000	3,950,000
7	地域福祉の担い手づくりモデル事業交付金	〃	50,130	0
8	生活支援体制整備事業モデル校区活動費交付金	〃	239,001	283,838
9	地域ふれあいサロン事業補助金	高齢者サロン	15,919,850	14,314,060
10	地域ふれあいサロンレクリエーション補助金	〃	0	0
11	ふれあい・いきいきサロン事業補助金	子育てサロン	544,000	552,943
12	ボランティアグループ活動助成金	ボランティア団体	407,000	439,250
13	大分市ボランティア連絡協議会運営補助金	大分市ボランティア連絡協議会	200,000	200,000
14	大分市社会福祉協議会老人部会運営補助金	大分市社会福祉協議会老人部会（大分市老人クラブ連合会）	1,000,000	1,000,000
15	大分市社会福祉協議会母子福祉部会運営補助金	大分市社会福祉協議会母子福祉部会（大分市母子寡婦福祉会）	218,000	218,000
16	大分市社会福祉協議会保育部会運営補助金	大分市社会福祉協議会保育部会	390,000	390,000
17	大分市社会福祉協議会心身障害児者部会運営補助金	大分市社会福祉協議会心身障害児者部会（大分市身体障害者福祉協議会連合会）	205,000	205,000
18	大分市社会福祉協議会老人福祉施設部会運営補助金	大分市社会福祉協議会老人福祉施設部会	140,000	140,000
19	大分市社会福祉協議会施設部会運営補助金	大分市社会福祉協議会施設部会	140,000	140,000
20	大分市青少年健全育成連絡協議会運営補助金	大分市青少年健全育成連絡協議会	685,000	685,000
21	大分市子ども会育成連絡協議会運営補助金	大分市子ども会育成連絡協議会	100,000	100,000
22	大分市手をつなぐ育成会運営補助金	大分市手をつなぐ育成会	95,000	95,000
23	大分市社会福祉協議会民生児童委員部会運営補助金	大分市社会福祉協議会民生児童委員部会（大分市民生委員児童委員協議会）	950,000	950,000
24	大分市民生委員児童委員生活福祉資金貸付業務助成金	大分市民生委員児童委員協議会	2,108,340	2,108,340
25	大分市身体障害者グラウンドゴルフ大会開催補助金	大分市身体障害者福祉協議会連合会	6,101	0
26	視覚障害者ウォーキング大会補助金	大分市視覚障害者協会	45,000	45,000
27	「社会を明るくする運動」開催補助金	大分保護区保護司会	72,000	72,000
28	大分市婦連大会開催補助金	大分市地域婦人団体連合会	72,000	72,000
合 計			61,301,459	58,972,351

5 指定管理者制度による施設管理

大分市の施設である大分市生き生きプラザ潮騒、大分市多世代交流プラザについて、指定管理者として適切な運営に努めました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、フィジカルディスタンスの確保や、利用者人数を制限して運営を行ったため、多くの自主事業が未実施となりました。

(1) 大分市生き生きプラザ潮騒（大分市大字佐賀関 869 番地の 4）

事業名	事業計画・目標	事業実績
サロン指導者ゲーム講習会	小地域でのサロン活動関係者を招き、指導者としての心得やサロンで行う各種ゲームの質の向上を目指すため講習会を開催する。 参加者に、実際に各種ゲームを体験してもらうことで、運営のマナー化の防止と魅力づくりに役立てることを目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
中学生の高齢者疑似体験・ボランティア交流会	中学生を対象に、高齢者疑似体験を実施し、高齢者及び障がい者への理解を深めてもらうとともに、潮騒利用者との交流会を開き、次代を担う地域福祉ボランティアを育成することを目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
地域住民交流活性化	佐賀関地域の各サロン対抗による「スカットボール大会」を実施し、地域住民の交流と高齢者の健康維持及び生きがい対策の推進を目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
ふれあい作品発表交流会	高齢者と園児等を対象として、趣味の手づくり作品の発表の場を提供することにより、作品出品者と一般来場者や園児等の交流を促進するとともに、高齢者等が趣味をとおして、生きがいづくりを図ることを目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
よっといで・遊びの学校事業施設の貸出・利用	小学生を対象に、高齢者の方々のボランティア活動の助成を得てイベントを開催し、世代間交流と児童の健全育成を図ることを目的とする。 (佐賀関公民館と共催) 高齢者の健康の増進と自主的な活動の促進を目指すとともに施設の利用拡大を目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事業名	事業計画・目標	事業実績
子育てサロン 「関キッズ」交流事業	未就学児童の社会性育成、保護者の育児負担軽減、潮騒利用者との交流を目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
その他の通常活動	潮騒ホール、入浴施設を開放し高齢者の引き籠もりを防ぎ、社会参加を促すことを目的とする。	<p>・60歳以上で、かつ、歌声や切り絵などのグループに加入する市民を対象に入浴施設及びホールの設備等の利用並びに貸出を行い、高齢者の生きがい対策等、健康づくりの支援を行った。</p> <p>・H22年12月、佐賀関地区の民間浴場が閉鎖したことに伴い、自宅に風呂場のない高齢者を対象に、H23年1月から潮騒の浴場の利用提供を行っている。</p> <p style="text-align: right;"> 高齢者利用者数 1,050人 浴場利用者数 1,550人 事業利用者数 0人 会議利用 0人 総計 2,600人 </p>

【令和4年度 大分市生き生きプラザ潮騒利用状況】

(単位：団体、人)

月	高齢者利用							潮騒事業 利用		会議等		浴場 利用者	合計
	渚の 会	健康 クラ ブ	カモメ の会	楓会	椿会	その 他	小計	利用 団体	利用 人員	利用 団体	利用 人員		
4月	6	24	20	24	22	0	96	0	0	0	0	143	239
5月	7	25	13	19	23	0	87	0	0	0	0	135	222
6月	6	25	24	29	23	0	107	0	0	0	0	151	258
7月	5	17	12	23	29	0	86	0	0	0	0	128	214
8月	1	31	8	18	22	0	80	0	0	0	0	129	209
9月	1	23	17	30	25	0	96	0	0	0	0	139	235
10月	18	15	18	23	20	0	94	0	0	0	0	139	233
11月	17	27	8	15	25	0	92	0	0	0	0	132	224
12月	4	29	6	24	22	0	85	0	0	0	0	122	207
1月	8	23	5	21	21	0	78	0	0	0	0	102	180
2月	0	28	4	19	23	0	74	0	0	0	0	115	189
3月	9	15	6	24	21	0	75	0	0	0	0	115	190
4年度	82	282	141	269	276	0	1,050	0	0	0	0	1,550	2,600
3年度	95	282	251	291	286	0	1,205	0	0	0	0	1,679	2,884

(2) 大分市多世代交流プラザ（大分市大字野津原 800 番地 大分市野津原市民センター2 階）

事業名	事業計画・目標	事業実績																					
親子クッキング教室	大分市民で未就学児（4歳以上）のいる家庭を対象に、親子で調理等を楽しんでもらうことで、参加者の健康増進や食育の推進、日常生活での調理実践の促進、参加者同士の交流を図ることを目的とする。	・野津原地区食生活推進協議会・野津原公民館の協力を得て、未就学児童と親を対象に親子クッキング教室を開催した。 10/22（土）11組（25人）参加 講師5名 11/26（土）11組（25人）参加 講師6名 12/17（土）10組（25人）参加 講師6名																					
野津原っ子まつり	未就学児とその家族を対象に、各遊びのブース等にて親子で楽しく触れ合い、交流を図ってもらうことを目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止																					
スカットボール大会	地域で活動している各サロン間におけるふれあい交流を目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止																					
ほっとアロマ教室	認知症やインフルエンザ予防、肩こり用等のオリジナルのアロマを作り体験することで、心と体をリフレッシュし、健康促進を図ること及び受講生間のふれあい交流を目的とする。	<p><水曜開催></p> <table border="0"> <tr> <td>9/14（水）</td> <td>参加者</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>10/12（水）</td> <td>参加者</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>11/9（水）</td> <td>参加者</td> <td>15名</td> </tr> </table> <p><土曜開催></p> <table border="0"> <tr> <td>9/10（土）</td> <td>参加者</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>10/8（土）</td> <td>参加者</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>11/19（土）</td> <td>参加者</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総参加者数</td> <td>74名</td> </tr> </table>	9/14（水）	参加者	14名	10/12（水）	参加者	13名	11/9（水）	参加者	15名	9/10（土）	参加者	13名	10/8（土）	参加者	10名	11/19（土）	参加者	9名	総参加者数		74名
9/14（水）	参加者	14名																					
10/12（水）	参加者	13名																					
11/9（水）	参加者	15名																					
9/10（土）	参加者	13名																					
10/8（土）	参加者	10名																					
11/19（土）	参加者	9名																					
総参加者数		74名																					
世代間交流健康づくり	県看護科学大学や野津原推進員と連携して、講座の開催や世代間交流を行うことにより高齢者等の健康づくりを目的とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止																					
施設の貸出	高齢者をはじめとするあらゆる市民の福祉や健康の増進、文化・教養の向上、レクリエーション活動の場として、施設の積極的な貸出しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流プラザ内の大ホール、健康コーナー、談話室 ・市民センター内の多目的ホール、大会議室 ・野津原公民館内の調理室 ・時間外も予約制にて対応。 																					

【令和4年度 大分市多世代交流プラザ利用状況】

(単位：団体、人)

月	各教室		各同好会		高齢者団体		社協関係講座	会議等研修会	ボランティア団体	校(地)区社協	行政・保健所	その他	社協講師	合計
	団体数	参加者数	団体数	参加者数	団体数	参加者数								
4月	18	213	2	8	0	0	0	63	67	2	0	52	0	405
5月	11	74	2	5	1	24	0	31	85	17	0	63	0	299
6月	15	108	2	6	1	45	0	55	80	10	0	74	0	378
7月	11	91	2	8	0	0	0	64	66	1	0	58	0	288
8月	9	75	2	8	1	21	0	22	44	3	6	62	0	241
9月	11	96	2	7	0	0	27	45	62	8	0	80	2	327
10月	14	112	2	8	0	0	48	31	81	0	0	37	7	324
11月	11	106	2	8	0	0	49	57	108	6	0	48	8	390
12月	11	106	2	10	0	0	25	93	84	8	0	61	6	393
1月	10	93	2	10	0	0	0	51	90	9	0	53	0	306
2月	10	99	2	10	0	0	0	41	85	38	0	46	0	319
3月	12	113	2	9	0	0	0	39	93	8	0	78	0	340
4年度	143	1,286	24	97	3	90	149	592	945	110	6	712	23	4,010
3年度	126	971	23	83	0	0	92	531	360	95	0	548	21	2,701

6 福祉サービス等改善向上委員会の開催

社会福祉法第 82 条の規定により、社会福祉事業の経営者は、常にその提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないものとされています。

令和 4 年度は、本委員会を 1 回開催しました。

福祉サービス等改善向上委員会

- 【内容】 ・採用面接時における対応について
・大分市社会福祉協議会の車両の運転マナーについて

【日時】 令和 5 年 3 月 22 日（水）

7 研修活動の推進

【主な外部研修会への参加状況】

令和 4 年 5 月 13～14 日	災害時の連携を考える全国フォーラム
令和 4 年 5 月 20 日	生活支援コーディネーター応用研修
令和 4 年 6 月 4～5 日	日本介護支援専門員協会全国大会
令和 4 年 8 月 26 日	インボイス制度説明会
令和 4 年 10 月 26 日	社会福祉法人監事研修会
令和 4 年 11 月 10～11 日	重層的支援体制整備事業視察
令和 4 年 11 月 12～27 日	生活困窮者自立支援全国研究会
令和 5 年 3 月 3 日	権利擁護支援シンポジウム
令和 5 年 3 月 14～15 日	全国生活福祉資金貸付事業運営研究会

【主な内部研修会の実施状況】

令和 4 年 4 月～ 3 月（全 25 回）	新採用（総合職）職員研修
令和 4 年 9 月～ 2 月（全 3 回）	人権・同和問題研修
令和 4 年 4 月 21 日	新規採用職員研修

地域福祉課

地域福祉課は、第5次地域福祉活動計画推進のため、校（地）区社協が主体的に行う小地域福祉ネットワーク活動事業（以下「ふれあい活動事業」という。）や、住民相互活動のふれあいサロン活動などへの支援を行いました。また、福祉活動の担い手となるボランティアの支援と育成や災害時の支援体制の整備に努めました。併せて、新たな地域福祉の担い手の発掘・育成に関する取組等も行いました。

1 校（地）区社協活動の支援

本会では、各校（地）区社協が取り組んでいるふれあい活動事業等を積極的に支援するとともに、地域課題に対して校（地）区社協関係者との話し合いの場作りを進め、校（地）区社協ごとの地域福祉活動計画の策定とその計画実施の支援に取り組みました。

（1）ふれあい活動事業

本事業は、校（地）区社協が実施主体となって、地域の支援を要するひとり暮らし高齢者等を対象に、小地域（概ね自治会）で住民相互の見守り活動や生活課題に対する話し合い、助け合いを行う自主的な活動を支援する事業です。この事業を推進するため、本会は、各地域担当者による個別支援と合わせて、校（地）区社協に対する連絡協議会や地域福祉推進委員への研修会を開催しました。

ア 校（地）区社協における令和4年度ふれあい活動事業の実態

ここ数年間は、ふれあい対象者数は横ばいで推移していますが、ふれあい協力者が減少傾向にあります。ふれあい協力者の減少については、ふれあい協力者の定義を、「身内ではなく近隣の方」としたことや、ふれあい協力者になることの負担感等が主な要因であると考えられ、新たな担い手確保の仕組みの検討が必要となっています。

令和4年度ふれあい活動集計表

(令和5年3月末現在、単位：地区、人)

No.	校(地)区	自治会数	民生委員 区数	ふれあい 対象者数	ふれあい 協力者数	協力者未 登録の対 象者数	緊急連絡 先未登録 の対象者 数	協力者・緊 急連絡先 共に未登 録の対 象者数
1	金池	16	32	499	342	218	36	15
2	長浜	8	14	256	200	76	36	8
3	荷揚	8	12	169	92	96	10	5
4	中島	9	15	215	142	96	20	6
5	住吉	6	13	213	107	70	11	6
6	春日	22	29	414	348	108	13	5
7	大道	13	27	273	138	22	62	13
8	西の台	11	16	341	200	106	4	3
9	八幡	11	12	214	201	37	3	1
10	南大分	8	21	444	298	157	19	13
11	城南	8	15	279	219	92	7	4
12	荏隈	6	15	311	226	129	11	6
13	豊府	8	23	400	227	186	10	5
14	滝尾	25	26	489	409	184	29	12
15	津留	19	32	598	286	363	36	25
16	東大分	12	16	244	101	144	57	53
17	日岡	8	16	236	118	151	19	13
18	桃園	12	16	273	216	98	7	2
19	明野	17	32	866	503	516	65	49
20	鶴崎	13	21	259	183	114	11	8
21	三佐	5	9	161	150	18	4	2
22	別保	9	26	270	186	137	3	0
23	明治	17	30	320	215	155	6	2
24	松岡	19	13	195	123	99	11	6
25	高田	8	10	213	144	60	17	2
26	川添	15	12	183	161	52	2	2
27	大在	13	26	347	271	108	12	3
28	坂ノ市	19	18	330	319	34	3	3
29	小佐井	8	8	129	113	12	2	1
30	丹生	9	8	96	110	3	0	0
31	佐賀関	59	38	734	659	92	22	4

No.	校(地)区	自治会数	民生委員 区数	ふれあい 対象者数	ふれあい 協力者数	協力者未 登録の対 象者数	緊急連絡 先未登録 の対象者 数	協力者・ 緊急連絡 先共に未 登録の対 象者数
32	こうざき	11	6	138	214	2	1	1
33	戸次	19	18	271	200	109	7	0
34	判田	25	14	211	200	75	3	0
35	竹中	17	9	105	105	5	1	1
36	吉野	12	9	122	122	17	6	1
37	植田	25	15	407	261	173	16	9
38	宗方	13	19	470	295	189	20	13
39	横瀬	15	22	449	310	193	6	3
40	賀来	21	13	217	171	27	1	1
41	東植田	24	26	650	593	173	8	7
42	寒田	19	16	214	146	96	10	5
43	敷戸	8	14	404	198	219	20	18
44	鴛野	16	11	232	165	9	16	0
45	野津原	43	16	286	227	48	11	2
令和4年度 合計		689	809	14,147	10,214	5,068	674	338
令和3年度 合計		688	795	14,063	10,566	4,808	707	353

イ 校(地)区社協連絡協議会の開催

本会議は、45校(地)区社協の会長、事務局長、民児協会長、地域福祉推進委員等を対象に、本会からの事業説明及び校(地)区社協間の情報交換等を目的としています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内を3か所に分けて連絡協議会を開催しました。

会場	参加者数	日時	
鶴崎市民行政センター 2階大会議室	35名	令和4年5月24日(火)	13:30~15:00
J:COMホルトホール大分 大会議室	60名	令和4年5月26日(木)	10:30~12:00
植田公民館 大研修室	42名	令和4年5月31日(火)	①10:30~12:00 ②13:30~15:00

ウ 地域福祉推進委員研修会の開催

地域福祉推進委員は、校（地）区社協が主体的に取り組むふれあい活動事業において、本会の地域担当者と連携してこの事業の推進を担う役割があることから、その育成のための（ア）、（イ）の研修会を開催しています。

（ア）令和4年度校（地）区社協活動研修会（場所：J:COM ホルトホール大分 大会議室）

令和4年度は、研修会の参加対象を地域福祉推進委員のみならず、校（地）区社協会長・事務局長・校区民児協会長及びボランティア等校区社協関係者等に拡大し、テーマ別に4回開催しました。

テーマ① with コロナの地域福祉活動

- 【内容】 新型コロナウイルス感染症対策と共生社会の取組について
- 【日時】 令和4年7月28日（木）10：00～12：00
- 【講師】 在宅支援クリニックえがお代表 山内勇人氏
- 【参加者数】 47名

テーマ② 地域連携を考える～学校×地域～

- 【内容】 学校が抱える課題と学校と地域の連携について
- 【日時】 令和4年9月1日（木）13：30～15：30
- 【講師】 国立大学法人大分大学大学院特任教授 佐藤由美子氏
- 【参加者数】 52名

テーマ③ 認知症を地域で支える

- 【内容】 認知症の特徴と対応方法について
- 【日時】 令和4年10月26日（水）10：00～12：00
- 【講師】 城東地域包括支援センター 荒金理恵認知症地域支援推進員
- 【参加者数】 66名

テーマ④ 取組発表～活動の担い手づくり～

- 【内容】 各校（地）区社協が行う活動の担い手づくりに関する取組発表
- 【日時】 令和4年11月22日（火）13：30～15：30
- 【講師】 金池こどもみんなのひろば代表実行委員 宗矩子氏
敷戸校区社会福祉協議会会長 池永雅典氏
- 【参加者数】 43名

(イ) 校（地）区社協情報交換会（場所：J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室）

既に住民主体の訪問型支援活動（ボランティアによるふれあい対象者等への個別の生活支援）を実施している校（地）区社協の地域福祉推進委員及び活動実践者同士での情報交換を行うことで地域福祉活動の充実・推進を図るため、標記の情報交換会を実施しました。

【内容】 ・各校(地)区社協における訪問型支援活動の実施内容
・活動における担い手の募集方法
・意見交換 など

【日時】 令和5年1月16日（月） 10：00～12：00

【参加者数】 23名

(2) 生活支援体制整備事業（大分市からの受託事業）

本事業は、高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って在宅生活を継続していくために、高齢者の社会参加・生活支援及び介護予防サービスの充実を踏まえた、地域における助け合い活動が行われる体制を整備するものです。

この事業は、大分市を第1層（市内全域）及び第2層（概ね小学校区）に区分して実施しています。第1層における地域住民・団体等の関係者の代表者等が、助け合い活動の推進等に関する協議を行う組織として第1層協議体を設置し、第2層における地域住民・団体等の関係者が、課題解決のための活動計画を策定後、助け合い活動の推進等に関する協議及び活動を行う組織として第2層協議体を設置しています。

本会は、第2層に生活支援コーディネーターとして地域担当職員を配置し、既存のふれあい活動を活かして各校（地）区社協で実態調査を行い、ニーズの把握や分析、対応策を協議したうえで、地域の実情に沿った校（地）区社協の地域福祉活動計画策定支援に取り組みました。

ア 校（地）区社協活動計画の策定や推進に関する協議・取組の支援

計画策定に着手した年度	校（地）区社協
平成29年度	南大分校区社協、三佐校区社協、明治地区社協、竹中校区社協、 駕野校区社協、寒田校区社協
平成30年度	西の台校区社協、城南校区社協、荏隈校区社協、豊府校区社協、 東大分校区社協、鶴崎校区社協、小佐井校区社協、宗方校区社協
令和元年度	判田校区社協、野津原地区社協
令和2年度	敷戸校区社協、坂ノ市校区社協
令和3年度	賀来校区社協
令和4年度	横瀬地区社協

イ 令和4年度に地域福祉活動計画の策定に取り組んだ校（地）区社協への支援

【実施校（地）区】

横瀬地区社協

【事業実績】

令和4年度に地域福祉活動計画策定に着手した横瀬地区では、引き続き計画策定のための協議を行い、計画を策定しました。横瀬地区ではふれあい対象者への実態調査を385名に実施しました。

2 ふれあいサロン活動

ふれあいサロンとは、地域住民が時間と場所を共有して交流する居場所です。住民の皆さんが主体となって自由な発想のもと、仲間づくり・居場所づくり・生きがいつくりにつながる活動を行いました。

(1) 大分市地域ふれあいサロン事業（高齢者サロン）（大分市からの受託事業）

身近な場所（概ね自治会単位）で、地域に住む高齢者が集うことによる仲間づくり、地域住民のつながりづくり、介護予防を目的とした活動を支援する事業で、各サロンへの活動費の助成と運営の担い手育成支援などを行っています。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、サロンコーディネーターによる個別相談対応やサロン交流会への参加により、サロンの実態把握や支援を行うとともに、新型コロナウイルスの影響を鑑み、活動交付金の対象活動の基準を一部緩和する取り組みを行いました。

また、サロンのプログラム企画の支援として、無料講師一覧と無料貸し出し用具の一覧を掲載した冊子「サロン活動のためのお役立ち情報」を作成し、サロンに配布しました。

令和4年度は新たに3サロンが新規に設立となり、令和4年度末時点での登録サロンは277サロン（令和3年度304サロン）となりました。

なお、令和4年度に活動したサロンは、261サロン（令和3年度285サロン）で、全てのサロンの参加登録者数は9,029人（令和3年度10,057人）、参加者の実績は延人数で100,747人（令和3年度95,216人）となっています。

ア 令和4年度のサロン活動状況アンケートの実施

新型コロナウイルス感染症が流行する中での、各サロンの開催状況や活動内容についての意見集約を行うことを目的にアンケートを実施しました。

【実施時期】 令和4年9月8日～10月7日

【対象数】 259サロン（アンケート調査実施時点の活動申請サロン）

【回答状況】 232サロン（回答率89.6%）

【内容】 ①現在の開催状況について

②歌唱を伴う活動の自粛要請に関する意見について

③歌唱を伴う活動を行う場合の感染対策について

④開催判断の方法について

⑤サロン活動を継続・充実させていく上で必要と思うものについて

⑥サロン活動における通信機器の活用に関するニーズについて

⑦活動上の不安や悩みについて

イ サロン連絡会への参加

サロン間の情報交換を目的とした8校（地）区社協が主催する、サロン連絡会に参加し、サロン活動状況把握を行いました。

参加校区：（戸次、鶴崎、春日、南大分、東大分、植田、東植田、佐賀関）

ウ サロン訪問の実施

サロン活動状況アンケートの結果を踏まえ、13カ所のサロンに訪問し、活動実態の把握を行いました。

エ 令和4年度サロン代表者等事務説明会

令和4年度活動申請のあった市内259サロンの代表者、関係者を対象として、市内3カ所に分けて説明会を開催しました。

会場	日時		参加サロン数
J:COM ホルトホール大分 大会議室	令和5年 2月16日(木)	10:00~11:30	37サロン
		14:00~15:30	47サロン
鶴崎市民行政センター 2階 大会議室	令和5年 2月20日(月)	10:00~11:30	37サロン
		14:00~15:30	40サロン
植田市民行政センター 2階 大会議室	令和5年 2月22日(水)	10:00~11:30	35サロン
		14:00~15:30	34サロン

オ サロンボランティア育成研修会(場所:J:COM ホルトホール大分 大会議室)

サロンに協力してくれる担い手(運営スタッフ、無料講師)の育成を目的に、大分市ボランティアセンターに登録している個人、団体の一部を対象にサロンボランティア研修会を下記のとおり開催しました。

【内容】 ・「集いの場」の重要性について
・地域ふれあいサロンの現状と課題

【日時】 令和4年9月6日(火) 13:30~15:00

【参加者数】 26名

(2) ふれあい・いきいきサロン事業(子育てサロン)(自主事業)

概ね小学校区を範囲とした子育て中の親子が気軽に集うことで、子育ての悩みや思いを共有する仲間をより身近な範囲でつくる活動を支援する事業です。活動費の助成や運営リーダー等の育成支援を行っています。

令和4年度末時点での登録サロンは36サロン(令和3年度36サロン)です。

なお、全サロンのサロン参加登録者数は1,349人(令和3年度1,480人)、参加者の実績は延13,073人(令和3年度11,607人)となっています。

令和4年度は、サロンの支援方法の検討のため、各サロンの課題や工夫に関するアンケートを実施しました。

また、令和3年度に引き続き、活動交付金の対象活動の基準を一部緩和することにより、サロン活動支援に取り組みました。

ア 令和4年度のサロン活動状況アンケートの実施

新型コロナウイルス感染症拡大予防におけるそれぞれのサロンの活動状況の把握し、今後のサロン活動への支援を検討するために実施しました。

【実施時期】 令和4年8月5日～9月5日

【対象数】 34サロン（アンケート調査実施時点の活動申請サロン）

【回答状況】 33サロン（回答率97.1%）

【内容】 現在（令和4年度）の活動状況（休止中、開催 等）

参加者の募集方法

運営上の課題、運営上参考にしたい情報 等

イ 令和4年度子育てサロン連絡会（会場：J:COM ホルトホール大分 302・303会議室）

サロン運営者を対象に、活動紹介や事務説明等を目的に連絡会を実施しました。

【内容】 いきいき・ふれあいサロン（子育てサロン）の事業説明及び活動紹介

令和4年度活動報告及び令和5年度活動申請について

【日時】 令和5年1月24日（火）14:00～15:30

【対象数】 34サロン

【参加者数】 46名

3 新たな地域福祉の担い手の発掘・育成

(1) 福祉協力員（仮称）の配置・支援に係る取組

今年度は、敷戸校区社協及び宗方校区社協をモデル校（地）区に選定し、「地域福祉の担い手モデル事業」を実施しました。

敷戸校区社協においては、一部の自治会において助け合い活動への担い手を配置する体制が整いました。宗方校区社協においては、校区社協関係者の合意形成に時間を要したことから、一部の自治会の協力を得て、担い手を配置する活動や担い手育成の取組方法についての検討を行いました。

(2) 地域福祉活動ボランティア支援事業

校（地）区社協活動やサロン活動等を支援する地域福祉活動ボランティアの発掘・育成をするため、大分市ボランティア連絡協議会と連携して、研修等の案内を希望する会員を対象に校（地）区社協活動研修会やサロンボランティア育成研修会への参加案内を行いました。

ア（ア）（校（地）区社協活動研修会）

① With コロナの地域福祉活動 令和4年 7月28日（水）参加者13名

② 地域連携を考える～学校×地域～ 令和4年 9月 1日（木）参加者20名

③ 認知症を地域で支える 令和4年10月26日（水）参加者24名

④ 取組発表～活動の担い手づくり～ 令和4年11月22日（火）参加者15名

（イ）サロンボランティア育成研修会 令和4年 9月 6日（火）参加者26名

イ 地域福祉活動ボランティアを発掘・育成するため、研修会参加者にアンケート調査を実施しました。

4 大分市ボランティアセンター事業

大分市ボランティアセンターは、ボランティア活動の支援事業やボランティアの育成事業を通して、ボランティア活動の振興を図り、地域福祉の推進に努めています。

(1) ボランティア活動支援

ア ボランティアに関する相談等

「ボランティア活動してみたい」「ボランティアをお願いしたい」などの相談や、ボランティア登録、活動保険等のボランティアに関する各種の相談、問い合わせなどに対応しました。

令和4年度：窓口・電話相談 約1,759件（令和3年度 約1,500件）

イ ボランティア登録の促進

令和4年度末：7,699人（286団体）、440人（個人）、合計8,139人（令和3年度9,142人）
内 新規登録として、128人（13団体）、35人（個人）

ウ ボランティアグループ活動助成金

継続的なボランティア活動の促進のため、活動経費（通信、電話等）の一部として助成金を1団体あたり2,750円～11,000円の範囲で交付しました。

令和4年度：総額407,000円/73団体（令和3年度439,250円/82団体）

エ ボランティア活動保険及び大分市市民活動等保険の加入促進

令和4年度：①ボランティア活動保険加入者3,784人（令和3年度3,598人）
②大分市市民活動等保険加入者1,688人（令和3年度1,810人）

オ 大分市ボランティア連絡協議会への支援

本会に登録するボランティアで構成するボランティア連絡協議会に運営支援を行い、自主的、創造的なボランティア活動の振興と活性化を図りました。

会 員：令和4年度末 78団体3,381人、個人5人

補助金：200,000円

主な活動	月日	内容
総会	5月27日 (書面議決)	R4事業報告・決算、R5事業計画・予算について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止し、書面議決としました。

<p>会員研修会 I・II・III</p>	<p>I R4.8月10日</p> <p>II R5.3月7日</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を延期し研修IIIを中止しました。</p> <p>I 県ボラ連ブロック別研修 【講話】「ヤングケアラーの実態について」 【講師】大分県福祉保健部</p> <p>II 会員研修会 【演題】「健康寿命を伸ばして楽しく過ごすために」～フレイル予防・特に栄養に気をつけましょう～ 【講師】大分県栄養士会管理栄養士 上田由美</p>
<p>その他</p>	<p>大分県社協主催講座、大分市社会福祉大会等に参加しました。</p>	

カ ボランティアルームの無料貸出

登録しているグループ等に、活動の場としてボランティアルームを無料で貸し出しました。

(2) ボランティアの育成

ア 福祉教育支援事業

小中学校の児童生徒及び保護者を対象に、福祉教育を通して、人を思いやる豊かな心や誰もが安心して暮らせる社会を創造する力を育むとともに、ボランティア活動へのきっかけづくりに繋げることを目的として実施しました。

(ア) 福祉副読本「ふくしの心」(CD-R)の作成、配布

【対象】小学校5、6年生(教師用指導書含む)

【内容】福祉に対する関心や正しい理解、実践する態度を養うため、「明るい家庭」

「お年寄りと共に」「障がいをこえて」「わたしたちにできること」「福祉ってなんだろう」について、市福祉関係課と連携して作成しました。

(イ) 福祉学習講座の開催

【対象】小中学校

【内容】福祉学習の手引きを配布し、手話や点字の学習、車いす・障がい者スポーツの体験、また、これらを通じた当事者の方との交流など、学校の希望に応じた出張講座を開催しました。

【令和4年度実績】小学校26校(2,086人)、中学校4校(1,727人)

イ 点訳ボランティア養成講座

点訳技術を習得した専門的ボランティアを養成するため年間45回講座を開催しました。令和4年度受講修了した3人は、今後、点訳ボランティアグループ「点訳友の会」に加入してボランティア活動を始める予定です。

ウ 朗読ボランティア養成講座

朗読技術を習得した専門的ボランティアを養成するため年間 10 回講座を開催しました。令和 4 年度受講修了した 9 人は、今後、朗読ボランティアグループを結成してボランティア活動を開始する予定です。また、これまでの修了者で結成する朗読ボランティアネットワーク会議に参加して、月 1 回の情報交換と技術向上を図っていきます。

エ 施設ボランティア体験事業（夏のボランティア体験月間含む。）

ボランティア活動をしたことがない人のために、福祉施設等でボランティア体験をしてもらうことで、ボランティア活動へのきっかけをつくるとともに、その後の継続した活動への促進を図りました。

体験事業	夏のボランティア体験月間	施設ボランティア
主催	大分県・各市町村社協	大分市社協
期間	夏休み期間	1 年間
協力施設	252	4
参加者 (人)	高校生 245 大学生等 6 社会人 0 <u>小中学生 1</u> 計 252	高校生 4 大学生等 0 社会人 0 <u>小中学生 0</u> 計 4

オ 収集活動ボランティアの支援

使用済み切手、書き損じハガキ、不要入れ歯（貴金属）等を受入れました。

(3) 福祉用具の貸出

市民や企業等から寄付及び寄贈された車いすやレクリエーション遊具等を、大分市民の個人や福祉活動を行っている団体等に貸し出しました。

ア 車いすの貸出：延べ 461 台

イ レクリエーション遊具の貸出：268 セット

5 災害ボランティア活動支援体制整備事業（大分市からの受託事業）

大分市地域防災計画における災害ボランティアに関する事前整備計画に基づき、被災者の生活再建に向けた第一歩となる災害ボランティア活動の支援体制の整備等を行い、共助に基づく支援体制の強化を図ることを目的に、以下の取組を行いました。

（1）災害ボランティアの育成

ア 災害ボランティア登録の拡充

- ・災害ボランティア登録者数：420名（令和3年度末448名）
広報誌「おおいた市社協だより ふんぷく」による登録者募集
- ・災害ボランティア登録者への可能な活動内容、活動エリア等の調査

イ 災害ボランティア養成講座の開催

（ア）災害ボランティア養成講座（場所：J:COM ホルトホール大分 大会議室）

【内容】 災害ボランティア活動の基礎知識、被災地での多様な支援活動 等

【日時】 令和5年2月19日（日） 14：00～

【参加者数】 56名（うち8名はオンラインによる参加者）

（イ）災害ボランティア協力者の育成（場所：横瀬校区公民館）

【内容】 ニーズ把握における協力者の育成（横瀬地区社協全体研修会）

【日時】 令和4年7月2日（水） 13：00～

【参加者数】 32名（自治会長・民生委員・防災士等）

（2）災害ボランティア運営スタッフの育成

ア 災害ボランティアセンター運営者研修

【内部研修会実施状況】

（ア）災害ボランティアセンター運営者研修

【内容】 市社協職員の災害時の対応、災害ボランティアセンターの役割や機能

【日時】 令和4年6月17日（金）

【参加者】 本会職員7名

（イ）大分市災害ボランティアセンター設置・運営体制の強化に向けた取組

① 大分市災害ボランティアセンター運営体制の見直しに関する協議

【内容】 災害VC設置までに行う内容の確認、編成表の担当割など

【日時】 令和4年9月6日

【参加者】 本会職員10名（事務局長他の管理職中心）

② 災害ボランティアセンター運営体制の強化に向けた事前説明会

【内容】 マニュアルの見直し、内部研修、訓練等の今後の取組の共有

【日時】 令和4年10月13日

【参加者】 本会職員10名（管理職並びに総合職中心）

- ③ 大分市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しの事前説明会
【内容】 マニュアルの見直し作業に関する詳細説明
【日時】 令和4年10月19日
【参加者】 本会職員14名（各班リーダー等）
- ④ 各班のマニュアルの見直し作業
【期間】 令和4年10月25日～令和4年11月1日
【内容】 マッチング班、庶務・広報班、ボランティア受付班、資機材班、ニーズ班、救護班で協議
- ⑤ 災害ボランティアセンター運営リーダー等研修会
【内容】 マニュアルの共有、動きの確認等
【日時】 令和4年11月29日
【参加者】 本会職員24名（各班リーダー等）
被災者救援部ボランティア調整班 工藤氏
- ⑥ マニュアル（設置部分）の検討会
【内容】 マニュアルの共有、動きの確認等
【日時】 令和4年12月19日
【参加者】 本会職員12名（所長から部門長までの管理職等）
- ⑦ 災害ボランティアセンター設置に係る机上訓練及び大分市災害ボランティアセンター設置・運営訓練の事前打ち合わせ
【内容】 災害ボランティアセンター設置までの流れ、訓練内容の説明
【日時】 令和5年3月2日
【参加者】 本会職員26名、大分市職員4名
- ⑧ 大分市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂
施行日：令和5年4月1日

【災害ボランティアセンター設置・運営に関する各種研修会への参加】

(ア) 第6回災害時の連携を考える全国フォーラム（JVOAD主催）

- 【内容】 災害支援における多様な団体との連携等について
【日時】 令和4年5月12日～13日
【参加者数】 本会職員1名（ZOOMによるオンライン参加）

(イ) 第1回災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会（県社協主催）

【内容】 災害支援の基礎、災害 VC の役割等について

【日時】 令和4年6月28日（火）

【参加者数】 本会職員5名

※会長、常務理事、局長、地域福祉課長、生活支援課参事、地域福祉係長がオブザーバーとして参加

第2回市災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会（県社協主催）

【内容】 災害ボランティアセンターと関係団体の平時からの連携 等

【日時】 令和4年12月6日（火）

【参加者数】 本会職員1名

(ウ) 第1回災害ボランティアセンター運営リーダー研修会（県社協主催）

【内容】 円滑で意味のある協働を実現するために 等

【日時】 令和4年12月23日（金）

【参加者数】 本会職員6名

第2回災害ボランティアセンター運営リーダー研修会（県社協主催）

【内容】 地域支え合いセンターの役割

【日時】 令和5年2月8日（水）

【参加者数】 本会職員5名

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（場所：平和市民公園）

【内容】 災害ボランティアセンター設置・運営に関する訓練

【日時】 令和5年3月11日（土）

【参加者数】 本会職員19名、大分市職員6名、

大分市災害ボランティアセンター運営委員会関係者等40名
備考：訓練動画を作成しYouTubeにて配信

(3) 災害ボランティア関係団体のネットワークの構築

関係機関及び関係団体等と連携・協力し、大分市災害ボランティアセンターの運営体制の整備及び災害ボランティアの育成等を図ることを目的に「大分市災害ボランティアセンター運営委員会」を下記のとおり、開催しました。

第1回大分市災害ボランティアセンター運営委員会

(場所：ホルトホール大分 3階 福祉関係団体活動)

- 【内容】 災害支援における協力体制や平時の情報発信等について
【日時】 令和4年6月30日(木)
【参加者数】 10名(オブザーバーとして県社協より1名参加)

第2回大分市災害ボランティアセンター運営委員会

(場所：J:COMホルトホール大分 3階 福祉関係団体活動室)

- 【内容】 災害支援における協力体制や平時の情報発信等について
【日時】 令和5年1月17日(火)
【参加者数】 8名

(4) その他の取組み(平時からの災害に関する情報発信)

HPやチラシ(被災した場合の対処方法等)を活用した市民向けの情報発信

- ・大分市及び本会のHPでの掲載
- ・各種会議や行事での参加者への配布
- ・大分市の「我が家の防災マニュアル」への掲載

6 啓発事業の推進

本会事業への理解と地域福祉活動について広く啓発を図るため、大分市社会福祉大会の開催や、本会の広報紙である「おおいた市社協だより」「ボランティアだより」及び「ふくしの風」の発行と配布を行いました。

(1) 第53回大分市社会福祉大会の開催

永年地域福祉の発展に尽力された方々等を表彰するとともに、社会福祉の更なる充実を目指すことを目的に下記のとおり開催しました。

第53回大分市社会福祉大会(場所：J:COMホルトホール大分 大ホール)

- 【日時】 令和4年11月17日(水) 13:00～
【式典】 ・主 題：「支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり」
・表彰状贈呈：27団体、8個人 感謝状贈呈：4団体、8個人
【特別講演】 演題『ほめる達人という生き方で 人や地域を笑顔・元気に！』
～あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい！～
講師 ほめる教育研究所 代表 竹下 幸喜 氏
【イベント】 脳トレ体操(市社協音楽指導員)
【参加者数】 約250名

(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から収容人数を定員の半数とした。)

(2) 広報紙の発行

ア 「ボランティアだより」の発行

ボランティア情報の提供とボランティア活動のきっかけづくりの促進を図るため、年1回(3月)、3,000部発行し、ボランティアセンターの事業、ボランティア活動への参加呼びかけやグループ紹介などの広報に努めました。

イ 「ふくしの風」の発行

地域福祉推進委員研修会の内容を取り上げた情報紙「ふくしの風」を作成し、校(地)区社協会長及び事務局長、地域福祉推進委員、全ての自治会長、民生委員に配布しました。

生活支援課

生活支援課は、市や県社協からの受託事業や本会独自の自主事業の取り組みをとおして、高齢者、障がい者、近くに頼れる身寄りのいない方など、地域で暮らす方々のあらゆる困りごとに対応する総合相談窓口として福祉サービス等の利用支援を行っています。

1 自立相談支援事業（大分市からの受託事業）

生活困窮者自立支援法（平成27年4月1日施行）に基づく自立相談支援事業を、大分市から委託を受けて大分市自立生活支援センターにて実施しました。

令和4年度は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により増加した、経済的に困りを抱える方への相談対応を行いました。新型コロナウイルス感染症の特例貸付が、今年度9月で終了したため、相談実績は1,722件（前年度実績5,466件、前年度比率31.5%）と、前年度に比べ3,744件減少しました。

また、本事業における住居確保給付金につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、再支給、及び職業訓練受講給付金との併給は、受付期間が延長されましたが、54件（前年度実績171件、前年比率31.5%）と前年度に比べ大幅に減少しました。

一方で、住居確保給付金や就労支援、家計改善支援事業、フードバンクプランの活用により、プラン件数は395件（前年度実績372件、前年比率106.1%）と前年度に比べ23件程増加しました。

このような中、市関係課との連携強化や制度の更なる周知を目的として、市関係各課にパンフレット、PRカードを配布し、つなぎ・連携シートの活用の案内をしました。また、住居確保給付金における再支給申請期間延長および、職業訓練受講給付金との併給についてのリーフレットをハローワークに配布し、事業の周知を行いました。また、この他にも市社協ホームページや市報掲載を通し、制度の周知を図りました。

令和4年度 大分市自立生活支援センター相談対応実績

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度 合計	3年度 合計
新規相談 受付件数	151	162	180	173	205	198	125	100	75	116	113	124	1,722	5,466
支援決定・確 認件数 (再プランを含む)	28	31	33	33	31	38	29	34	41	32	29	36	395	372

2 生活福祉資金貸付事業（大分県社会福祉協議会からの受託事業）

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう、資金の貸付と必要な援助指導を行いました。令和4年度の新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な困りごとを抱える相談者は、前年度と比較すると21.2%程度と落ち着きつつあります。

令和4年度 生活福祉資金貸付事業相談受付実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	281	469	425	426	444	361	113	93	47	69	82	72	2,882
3年度	1,453	1,860	2,199	1,309	1,600	1,197	870	903	645	523	520	520	13,599

(1) 福祉資金（福祉費、緊急小口資金含む。）

低所得世帯の自立更进行を図るための生活資金の貸付

借入申込 161件

貸付決定 148件 23,545千円

(2) 生活復興支援資金（一時生活支援費、生活再建費、住宅補修費）

被災した低所得世帯（被災したことにより低所得世帯となった場合も含む。）であって、日常生活の維持が困難となっている場合に必要な費用の貸付

借入申込 0件

貸付決定 0件 0千円

(3) 総合支援資金（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）

生計中心者の離職によって、生計の維持が困難となった世帯の生活再建までの間に必要な生活費用、敷金や礼金等住宅の賃貸借契約を結ぶために必要な費用、生活の再建に一時的に必要で日常生活費により賄うことが困難な費用の貸付

借入申込 2件

貸付決定 2件 690千円

(4) 教育支援資金（教育支援費、就学支度費）

高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に就学するのに必要な入学支度金や授業料の貸付（* 他の奨学金制度が決定するまでのつなぎとして対応）

借入申込 117件

貸付決定 116件 77,980千円

(5) 不動産担保型生活資金（一般世帯、要保護世帯）

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯の自立支援を目的とし、当該不動産を担保とした生活資金の貸付

借入申込 0件

貸付決定 0件 0千円

(6) 特例貸付

緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持が困難となった世帯への少額な費用の貸付

貸付申込 347 件
貸付決定（3年度中受付後決定分を含む。） 334 件 65,270 千円

総合支援資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への生活再建までの生活費用の貸付

貸付申込 286 件
貸付決定（3年度中受付後決定分を含む。） 280 件 142,240 千円

3 日常生活自立支援事業（大分県社会福祉協議会からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力の十分でない方々が、地域で安心した生活が送れるよう、主に福祉サービス利用援助、日常生活に必要な手続の援助、日常的なお金の出し入れの援助、大切な書類等のお預かりについて援助しました。

令和4年度 日常生活自立支援事業相談件数、契約件数及び解約件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
相談件数	11	19	14	18	11	28	22	14	15	11	24	25	212	202
契約件数	1	3	1	2	4	2	2	2	4	2	2	7	32	34
解約件数	4	2	3	3	1	6	5	2	3	3	2	4	38	43

(令和4年度末の契約件数 169件)

(令和3年度末の契約件数 175件)

4 やすらぎ生活支援事業（自主事業）

近くに頼れる身寄りのない方が、地域で安心した生活が送れるよう、入院時、施設入所時、物忘れが出た時などに必要な支援について援助を行いました。

また、契約時には任意後見制度も併せて契約することとしており、判断能力が低下しても支援が途切れず受けることができます。

令和4年度 やすらぎ生活支援事業相談件数、契約件数及び解約件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
相談件数	5	1	2	1	1	1	2	4	1	0	4	2	24	35
契約件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
解約件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

(令和4年度末の契約件数 23件)

(令和3年度末の契約件数 22件)

5 大分市成年後見センター事業（大分市からの受託事業）

平成30年4月に大分市から委託を受けて、大分市成年後見センターを本会事務局内に設置し、同年10月にJ:COMホルトホール大分3階に移転し本格稼働しました。

本センターでは、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が十分でない方々が安心・安全な生活を送ることができるよう、成年後見制度に関する相談対応、成年後見制度普及・啓発活動の実施、市民後見人養成講座の開催、及びこれまでに市民後見人養成講座を受講した方に対するフォローアップ研修を実施しました。

本会を成年後見人等（保佐人、補助人を含む。）候補者として受任の適否等を審査する権利擁護受任調整定例会議（旧運営委員会を含む。）を年5回開催し、37件中17件（内1件は大分家裁からの推薦依頼案件）を本会に、20件を社会福祉士会及び弁護士会が受任し、この結果、本年度17件の新規受任が確定し、年度末の受任件数は39件となりました。

また、本会が受任している39件のうち4件については、市民後見人を候補者とする対応が適当であるとの判断が、権利擁護受任調整定例会議にてなされ、辞任・選任の申立てを手続き中です。

(1) 令和4年度 相談対応実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
新規相談 受付件数	20	31	34	33	29	31	25	23	30	19	23	20	318	278
継続相談 受付件数	12	10	5	6	11	12	8	8	5	7	7	2	93	103
合計	32	41	39	39	40	43	33	31	35	26	30	22	411	381

(2) 令和4年度 新規法人受任実績

(単位：件)

	類 型				終了	年度末 実件数
	後見	保佐	補助	計		
令和4年度	9	5	3	17	4	39
令和3年度	6	0	2	8	2	26

(3) 令和4年度 市民後見人養成講座（受講終了者16人）

（単位：人）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	4年度	3年度
参加者 延べ人数 (補講者含む)	16	17	15	15	17	17	17		114	51

(4) 令和4年度 市民後見人養成講座フォローアップ研修

これまでの市民後見人養成講座受講者を対象に、今年度のフォローアップ研修について75名に案内した結果、43名の参加がありました。

(5) 令和4年度 成年後見制度普及啓発講演会

令和5年2月9日（木）大分市鶴崎市民行政センター2階大会議室にて、弁護士の田中利武先生を講師に招き、「元気なうちの終活」と題した講演会を実施いたしました。

また、講演会終了後、弁護士をはじめ、司法書士や社会福祉士など専門職によるパネルディスカッションを実施いたしました。40人の参加があり、参加者からは「専門職の先生方から費用の事や具体的な話を聞け、成年後見制度について詳しく学べて良かった。」と好評であり、併せて、弁護士など専門職による相談会も実施いたしました。

6 音楽指導員派遣事業（自主事業）

地域や施設等に音楽の知識や技術を学んだ音楽指導員を派遣し、社会参加の場の提供に努めながら、生活の質の向上や心身の機能の維持改善を図ることを目的に行っています。

令和2年度および3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての事業を中止しましたが、令和4年度は、感染症対策を実施し事業を一部再開しました。

令和4年度 音楽指導員派遣事業活動実績（活動回数 合計278回）（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
施設・病院等	0	0	5	9	4	12	11	12	11	12	9	13	98	0
地域活動・行事	0	15	16	16	15	15	16	16	16	15	16	16	172	0
高齢者サロン	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	1	8	0
子育てサロン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別合計	0	15	21	25	19	27	27	28	28	32	26	30	278	0

7 障がい者相談支援事業（大分市からの受託事業）

在宅で生活している障がい者やその家族が、住み慣れた地域の中で、自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、地域の総合相談窓口として、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための広範囲できめ細かな支援や情報提供等に努めました。

また、平成30年度から開始した「大分市地域生活支援拠点等整備推進事業」において、障害の

特性に起因して生じた緊急事態等に係る相談に 12 件対応、うち緊急時支援が必要な相談は 2 件でした。

なお、障がい者相談支援事業の受託に加えて、指定特定相談支援事業者として、サービス等利用計画作成にも引き続き取り組みました。

(1) 相談支援事業 (受託)

(単位：件)

活 動 項 目		早 朝 ～8:30	午 前 8:30～	午 後 12:00～	夜 間 17:15～	4 年 度 合 計	3 年 度 合 計
会 議	自立支援協議会	0	7	4	0	11	6
	個別調整会議	0	1	17	0	18	11
	その他の会議	0	1	1	1	3	2
訪問相談	単 独	0	112	242	4	358	275
	合 同	2	36	52	3	93	78
来所相談	単 独	0	13	34	3	50	39
	合 同	0	1	3	0	4	7
電話相談	利 用 者	9	179	253	40	481	405
	行政機関	0	29	43	12	84	51
	関係機関	4	212	312	22	550	475
メール 相談	利 用 者	7	18	19	3	47	52
	行政機関	0	0	0	0	0	0
	関係機関	0	0	5	1	6	6
連絡調整	利 用 者	5	187	247	45	484	376
	行政機関	0	94	195	11	300	200
	関係機関	4	338	620	95	1,057	978
資料等の 作成	相談記録	9	391	736	189	1,325	1,000
	調整会議等資料作成	0	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計		40	1,619	2,783	429	4,871	3,962

(2) サービス等利用計画

(単位：件)

支援内容	令和 4 年度	令和 3 年度
計画作成	104	113
モニタリング	289	297
年間合計	393	410

8 包括的支援・介護予防事業（大分市からの受託事業）

地域包括支援センター事業

（城東地域包括支援センター、佐賀関・神崎地域包括支援センター）

地域の高齢者が住み慣れた地域で心身ともに健康で尊厳ある生活を継続していけるよう、介護予防マネジメント、総合的な相談と支援、権利擁護に関する事業などを地域において一体的に実施しました。また、地域の関係機関のネットワークの構築の強化に努めました。

加えて、城東地域包括支援センターでは、大分市内の地域包括支援センターで唯一、認知症地域支援推進事業を受託しています。

（単位：件、回）

業務内容・相談対応件数		城東		佐賀関・神崎	
総合 相談 支援	介護・高齢者サービス	1,633	2,783	942	2,174
	その他のサービス	44		39	
	介護予防	42		44	
	生活・健康問題	465		396	
	入退院(所)時の調整	282		168	
	困難事例	76		139	
	苦情	14		11	
	実態把握・見守り	113		176	
	照会・連携	114		259	
権利 擁護	高齢者虐待	9	119	20	104
	認知症	69		51	
	成年後見	1		10	
	消費者被害	0		2	
	その他	40		21	

(単位：件、回)

業務内容・相談対応件数		城東	佐賀関・神崎		
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	自立支援型ケアプラン相談会	3	2		
	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	5	0		
	個別事例に対する地域ケア会議の開催	※ケース会議 1	0		
	ケアマネジメントの質の向上のための研修	※介護支援専門員研修 1	4		
	ケアプラン作成助言等を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの助言	6	1		
	居宅介護支援事業者・サービス事業所からの相談	14	1		
		30	8		
介護予防ケアマネジメント業務	事業対象者	電話相談	50	21	103
		来所相談	4	5	
		訪問相談	30	77	
	介護予防給付	要支援（電話・来所）	2,546	1,995	4,397
		要支援（訪問）	1,008	1,785	
		サービス担当者会議	230	281	
		介護保険関係申請代行	380	336	
	令和4年度 合計		7,180	6,786	
令和3年度 合計		7,756	7,394		

(単位：件、回)

介護予防給付請求等件数	令和4年度		令和3年度	
	城東	佐賀関・神崎	城東	佐賀関・神崎
介護予防給付請求件数	3,535	3,043	3,472	3,002
介護予防教室の開催	3	2	2	2

(単位：件、回)

研 修 会	令和4年度		令和3年度	
	城東	佐賀関・神崎	城東	佐賀関・神崎
包括センター主催の研修会（ケアマネの質の向上）開催	1	4	1	4
サロン・老人会・会議への参加	127	74	89	118

(単位：件)

相談・業務内容		令和4年度		令和3年度	
		城東		城東	
認知症地域支援推進事業	地域におけるネットワークの構築関係	500	983	594	978
	認知症が疑われる方に関する支援関係	193		191	
	大分県認知症疾患医療センター・サポート医・かかりつけ医との連携関係	71		26	
	確定診断を受けた方に関する支援関係	1		7	
	若年性認知症関係	59		25	
	就労支援関係	0		0	
	会議・研修会の開催	100		73	
	会議・研修会への参加	59		62	

在宅福祉サービス課

在宅福祉サービス課は、介護保険事業をはじめとする各種在宅福祉サービスを高齢者の方や障がい者の方に対し提供しました。

また、オンラインを活用した内部研修会の開催や外部研修等への積極的な参加により、職員の資質向上を図りました。

1 介護保険事業

(1) 訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（大分市ホームヘルプステーションさざんか）

ホームヘルパー43名を配し、要介護又は要支援状態にある高齢者等に対し、自宅へホームヘルパーを派遣し生活援助や身体介護等のサービスを提供しました。

令和4年度要介護度別延利用者数【訪問介護】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
事業対象者※ (総合事業)	13	14	14	14	15	13	15	10	11	10	9	13	151	170
要支援1	179	172	157	159	170	167	173	181	184	173	169	203	2,087	2,442
要支援2	378	392	392	397	407	395	386	381	394	365	357	387	4,631	4,363
要介護1	520	539	541	523	515	489	534	540	564	533	471	513	6,282	6,115
要介護2	107	156	169	188	163	168	158	168	180	171	156	170	1,954	2,070
要介護3	139	185	188	195	178	183	203	158	148	133	179	201	2,090	1,998
要介護4	107	112	108	98	103	94	109	82	72	68	63	70	1,086	1,265
要介護5	44	49	44	41	37	42	48	45	49	34	40	44	517	700
合計	1,487	1,619	1,613	1,615	1,588	1,551	1,626	1,565	1,602	1,487	1,444	1,601	18,798	19,123

(2) 通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（大分市老人デイサービスセンターさざんか）

要介護又は要支援状態にある高齢者等に対し、在宅生活が継続できるよう、残存機能の維持・向上を目的とした体操や個別動作訓練の取組や認知症ケアに対応した個別支援を実施することで、利用者一人ひとりの心身の安定を図りました。

また、在宅介護を実施している家族の方からの介護相談に対し助言を行うことで、在宅生活が安心して過ごせるよう本人と家族に対し継続的なサービスを提供しました。

令和4年度要介護度別延利用者数【通所介護】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
事業対象者 (総合事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	4	5	4	7	9	6	7	5	0	7	8	17	79	207
要支援2	30	32	29	24	21	25	38	30	41	28	39	42	379	472
要介護1	165	148	122	114	132	122	128	127	117	133	120	138	1,566	2,252
要介護2	87	84	86	110	105	111	121	121	91	52	47	67	1,082	811
要介護3	48	49	50	49	63	46	47	43	32	35	29	31	522	601
要介護4	18	15	16	11	14	6	8	25	24	22	18	16	193	403
要介護5	45	34	30	29	32	20	23	21	15	13	12	15	289	569
合計	397	367	337	344	376	336	372	372	320	290	273	326	4,110	5,315

(3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業（大分市介護保険サービスセンターさざんか）

要介護状態にある高齢者に対し、介護サービス計画の作成や連絡調整、適切な介護サービスが利用できるように支援しました。

また、地域包括支援センターからの委託を受け、介護予防が必要な高齢者に対して自立に向けた予防プランの作成を行いました。

令和4年度プラン作成数【居宅介護支援】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
ケアプラン	315	325	321	323	322	315	316	313	318	315	301	284	3,768	3,852
介護予防プラン	33	32	32	34	33	33	32	31	32	32	32	32	388	364

2 障がい福祉サービス事業等

(1) 障がい福祉サービス事業（大分市障害者等ホームヘルプステーションさざんか）

身体、精神及び知的障がい者、障がい児等が居宅において日常生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣して、家事や身体介護等の必要な支援を行いました。

令和4年度障がい別延利用者数【障がい福祉サービス事業】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4年度	3年度
身体障がい者	445	420	433	394	441	418	439	442	459	399	380	456	5,126	5,242
知的障がい者	81	115	107	99	101	81	92	99	93	88	94	106	1,156	1,025
児 童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障がい者	50	50	49	58	58	50	51	49	49	47	55	60	626	708
合 計	576	585	589	551	600	549	582	590	601	534	529	622	6,908	6,975

(2) 特定相談支援事業（相談支援事業所さざんか駅南）

障がい者施策の充実及び障がい者の意思、人格を尊重した生活の質の向上に資する適切なサービスを、行政機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、広域的かつ一体的なサービスとして提供しました。

令和4年度サービス等利用計画作成数 （単位：件）

支援内容	4年度	3年度
計画作成	156	141
モニタリング	595	472
年間合計	751	613

3 地域支援（介護予防）事業及び生活支援事業（大分市からの受託事業）

(1) 生活支援ホームヘルプサービス事業

介護保険対象外のひとり暮らし高齢者等に対し、生活援助や身体介護等のサービスを提供しました。

- ・ 延べ利用者数 527名（前年度延べ利用者数601名）

(2) 生きがい対応デイサービス事業

日常生活は自立しているが、高齢により身体的に虚弱で家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、入浴、機能訓練などのサービスを提供しました。

- ・ 延べ利用者数 27名（前年度延べ利用者数32名）

(3) 地域交流事業実施状況

新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえで、介護福祉士等の養成校からの介護実習生の受け入れを行い、将来の福祉関係従事者の育成に取り組みました。

また、社会福祉法人博愛会が運営する博愛大学校どり一む介護科の生徒4名を介護実習生として受け入れ、知的障害のある方に対する介護指導なども実施いたしました。

【実習生等受入】

受入期間	受入人数	依頼元
15日間	1名	大原学園（介護実習）
5日間	2名	芸術文化短期大学（教員養成課程における介護等体験）
7日間	1名	大分南高等学校（介護実習）
4日間	4名	博愛大学校どり一む介護科（介護実習）

<事業報告書の附属明細書について>

上記の事業報告に関して、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定されている附属明細書については、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

